

## 四則計算を理解するページ

計算式の中に、たし算やかけ算がまざっているとき



**通常は、かけ算・わり算を先にやる！**

(たし算・ひき算は後回し。ただし、そうでない場合もある。)

「四則」とは、たし算・ひき算・かけ算・わり算の4つのことをいいます。

### 四則計算の参考例

例1.

$$5 + 4 \times 2 = 5 + 8 = 13$$

かけ算を先に！

$$6 - 8 \div 4 = 6 - 2 = 4$$

わり算を先に！

$$10 - 3 \times 2 + 7 + 15 \div 5 = 10 - 6 + 7 + 3 = 14$$

先に計算！

先に計算！

例2.

$$(5 + 1) \div 2 + 2 \times (3 - 1) = 6 \div 2 + 2 \times 2 = 3 + 4 = 7$$

( ) がある場合は、( ) の中を先に計算しよう！

例3.

$$2 \times \{ (9 - 2) - 5 \} + 4 = 2 \times \{ 7 - 5 \} + 4 = 2 \times 2 + 4 = 8$$

{ } と、( ) がある場合は、( ) の中を先に計算して、  
その次に、{ } の中を計算しよう！